

私たちは、戦後80年間戦争しない国でした。

でも、最近の動きを見ていると、自分が生きている間に戦争あるかも、って思ったりしませんか？

現行憲法は「戦争放棄」を謳いますが、「安保三文書」(2022年12月閣議決定)は、日本の防衛政策を、専守防衛から攻撃能力の保有へと大きく転換させました。

5年以内に日本が戦争を始める気はしないかもしれませんが、でも、20年だったらどうでしょう？

この先の20年、戦争しないでいるために、今、何が出来るのか、この国の未来を担う若い世代の方達と一緒に、私たちが望む国のカタチ、とりわけ、外交・防衛政策について、考え合いたいと思います。

***ただ、講演を聴くだけでなく、テーブル討論も行います。日頃のモヤモヤをお喋りしてみませんか？**



プログラム

- 開会のあいさつ(趣旨説明)
- テーブル討論1(アイス・ブレイク)
- ミニ講演 戦争が起きたときに命と暮らしが守られるかの法制度
永井 幸寿 弁護士
- メイン
スピーチ 21世紀の『戦場のリアル』と『戦争する国の経済のリアル』
ケム・ハンター氏(ベテランズ・フォー・ピース)*通訳有
- テーブル討論2
- 共有タイム
- 講師よりまとめ
- 閉会のあいさつ

講師プロフィール

ケム・ハンター(Kem Hunter)氏

職業軍人の家庭で育ち、高校時代を神奈川県に在日駐留米軍基地で過ごす。卒業後は、海軍の予備役将校訓練奨学金を得てスタンフォード大学へ(社会学専攻)。1967年卒業後、海軍に入隊。ベトナム戦争に二度派遣。心的外傷を抱え帰国。退役後、シアトル消防局に入隊(25年勤務)。1997年、ロースクールに進学、資格を取得して弁護士に。2000~2004インデックス市(ワシントン州スノホミッシュ郡)市長。2012-2021同市市議会議員
ベテランズ・フォー・ピース・シアトル支部 理事
ベトナム平和の樹(PeaceTrees Vietnam) 副理事長

ベテランズ・フォー・ピース(Veterans for Peace)

1985年、米国で従軍経験のある元軍人(ベテランズ)と軍人の家族、およびその賛同者により結成された国際的な平和団体。認定国連NGO。全世界に約8000人・140支部で活動している。

永井 幸寿弁護士(兵庫県弁護士会所属)

1989年弁護士登録。阪神・淡路大震災で事務所が全壊したことをきっかけに、被災者支援のための法的サービスの提供や立法活動にも関与。近著に「戦争と法 命と暮らしは守られるのか」(岩波新書2025/06)

意見交換のルール

政治的問題には唯一の正解はありません。あるのは、立場の違いによる選択の違いです。

- ① どなたのどのような意見も否定されません。
- ② 自分と違う意見にこそ、心を開いて耳を傾けます。
- ③ 発言者に拍手を送ります。発言には勇気と決断が必要です。
- ④ 質問は、意見の優劣を決するためではなく、相手を深く知るためになされます。



日時 2025年11月22日(土)

10:00~12:30(開場9:30)

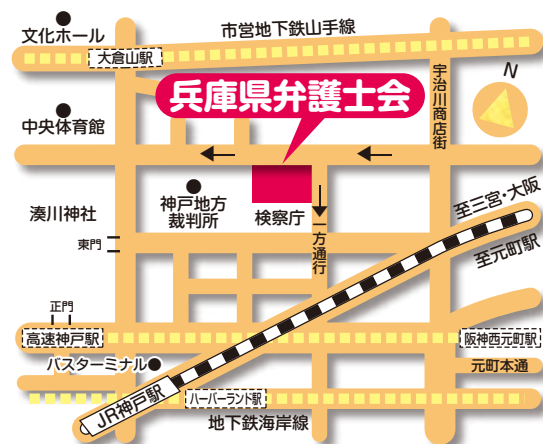
会場

兵庫県弁護士会館

神戸市中央区橋通1-4-3

JR神戸駅、高速神戸駅、市営地下鉄大倉山駅から徒歩約8分

駐車場はございませんので、お近くのコインパーキング/公共交通機関をご利用ください。



定員 50名

参加費 無料

申込方法

兵庫県弁護士会ホームページに掲載の申込フォームまたは二次元バーコードよりお申込ください。

※兵庫県弁護士会ホームページ
<https://www.hyogoben.or.jp/>



申込締切 2025年11月17日(月)

託児利用 2025年11月 4 日(火)